

# 回覧

## 第2自治会防災通信

第2号のテーマは **"マグニチュードと震度"** です。この内容を先に防災通信に載せたほうがよいと考え、第1号での予告内容からは変更しています。

### 1. マグニチュードについて

マグニチュードは地震発生個所での放出エネルギーです。ものすごく大きいエネルギーです。マグニチュードが1違うと32倍エネルギーが異なります。2違うと32x32で1000倍以上エネルギーの大きさが異なります。2011年の東日本大震災はマグニチュード9.0、1923年の関東大震災のマグニチュードは7.9でした。私たちが影響を受けるのは震度です。マグニチュードが大きくても地震発生個所が遠い場合は、震度は小さくなり影響は軽減されます。地震発生個所が横浜に近くて、マグニチュードが大きいほど横浜への影響も大きくなります。

### 2. 震度について

震度は気象庁が各地に設置している震度計の計測結果から求められます。（昔は人の体感によって決めていた。）小数点第1位まで計算され、公表される震度は次のように分類されます。



測定震度	震度	測定震度	震度
0 - 0.4	0	4.5 - 4.9	5弱
0.5 - 1.4	1	5.0 - 5.4	5強
1.5 - 2.4	2	5.5 - 5.9	6弱
2.5 - 3.4	3	6.0 - 6.4	6強
3.5 - 4.4	4	6.5 以上	7

測定震度が6.5以上はすべて震度7となります。したがって震度8、震度9などはありません。2011年の東日本大震災の最大震度は7、2016年の熊本地震、2018年の北海道胆振（いぶり）東部地震も最大震度は7でした。

次回第3号は**"本当に横浜に巨大地震は来るの？"**です。「第2自治会防災通信」に対する質問やコメントがありましたら、「第2自治会防災委員会」までご連絡ください。

Fax : (045) 811-6769 (第1回の防災通信でお知らせした番号と異なります)

メールアドレス : nishigaoka.dai2jichikai@outlook.jp

